

準用河川山際川洪水浸水想定区域図について

1 洪水浸水想定区域図について

①概要

近年、集中豪雨等による水害が頻発しており、短時間で河川が増水し、堤防が決壊して甚大な被害が発生していることから、洪水時の円滑かつ迅速な避難を確保し、洪水時の被害を最小限にするため、河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域、水深、浸水継続時間及び家屋倒壊等を示すものです。

②目的

準用河川山際川の左岸側は、相模川との間に家屋が点在しております。また、右岸側は、家屋が点在するとともに老人ホームが立地し、その先は丘陵地となっています。しかしながら、水防法の指定河川ではなく洪水浸水想定区域を公表していないことから、市民の安心・安全を確保し、激化する水害に対処するため、施設では守りきれない事態を想定し、地域の危険度の確認や水害による被害の軽減を目的として、洪水浸水想定区域図を作成するものです。

③想定最大規模降雨とは

関東地域（降雨特性の似ている地域）において、過去に観測された最大降雨量により、降雨継続時間別、流域面積別の降雨量の最大値を算出します。この降雨量は、当該河川でも同様に発生すると考え、準用河川山際川における降雨継続時間と流域面積により、想定最大降雨量を算出するものです。

準用河川山際川は50分の総雨量132.9mmとなります。

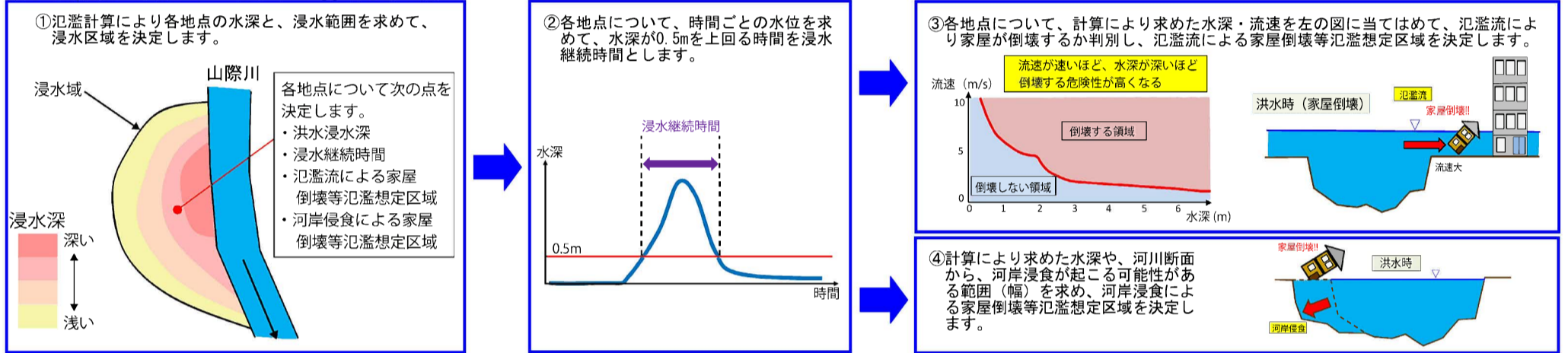
④降雨継続時間50分とは

流域の大きさ、降雨の特性、洪水流出の形態を考慮し、準用河川山際川流域に雨が降り始め、上流域から最下流地点まで流れる間に途中の流域から流入してくる流出量によって徐々に増加し、最下流地点に到達したときに洪水がピークを迎える時間です。

※準用河川山際川 河川延長L=1.75km 流域面積A=4.21km²（想定最大 A=5.47km²）

洪水浸水想定区域図は、国土交通省所管「洪水浸水想定区域図作成マニュアル（第4版）」に基づき作成しています。

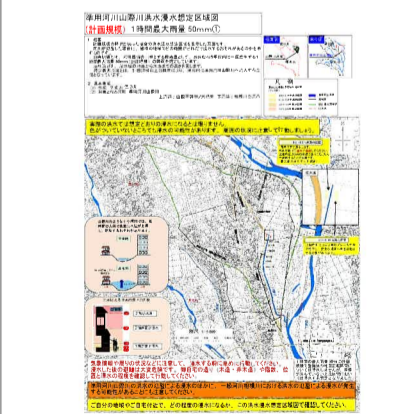
2 洪水浸水想定区域図の作成手順について



①洪水浸水想定区域図（計画規模） 1時間最大雨量 50mm

1 概要
計画規模の降雨があった場合の洪水浸水想定区域を表示した図面です。河川が氾濫した場合に、皆様の地域でどの範囲がどれだけ浸水するおそれがあるのかを示すものです。
計画規模とは、河川整備の目標とする降雨量として、おおむね5年以内に一度発生する1時間最大雨量50mm（計画規模）の降雨を想定しています。
浸水深とは、浸水域の地面から水面までの高さを表します。
想定最大流域とは、計画規模以上の降雨により、地形的に準用河川山際川へ流入する流域となっています。

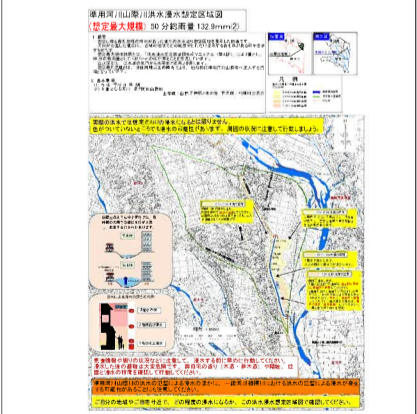
2 基本事項
(1) 作成 平成31年3月
(2) 対象となる河川 準用河川山際川
上流端：山際字神明ノ木地先
下流端：相模川合流点



②洪水浸水想定区域図（想定最大規模） 50分総雨量 132.9mm

1 概要
想定し得る最大規模の降雨があった場合の洪水浸水想定区域を表示した図面です。河川が氾濫した場合に、皆様の地域でどの範囲がどれだけ浸水するおそれがあるのかを示すものです。
想定最大規模降雨とは、「洪水浸水想定区域図作成マニュアル（第4版）」により算出し、50分の総雨量として132.9mmの雨が降ることを想定しています。
浸水深とは、浸水域の地面から水面までの高さを表します。
想定最大流域とは、計画規模以上の降雨により、地形的に準用河川山際川へ流入する流域となっています。

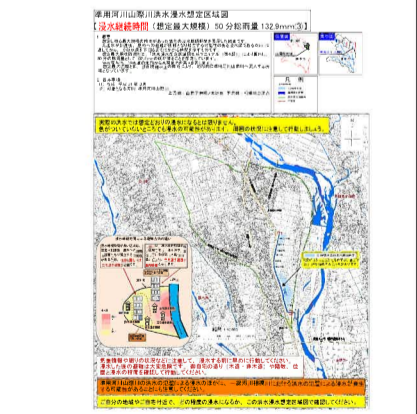
2 基本事項
(1) 作成 平成31年3月
(2) 対象となる河川 準用河川山際川
上流端：山際字神明ノ木地先
下流端：相模川合流点



③洪水浸水想定区域図【浸水継続時間（想定最大規模）50分総雨量132.9mm】

1 概要
想定し得る最大規模の降雨があった場合の浸水継続時間を表示した図面です。氾濫流が到達後、屋外への避難が困難となり孤立する可能性のある浸水深である0.5mに達してから、その水深を下回るまでにかかる時間を示すものです。
想定最大規模降雨とは、「洪水浸水想定区域図作成マニュアル（第4版）」により算出し、50分の総雨量として132.9mmの雨が降ることを想定しています。
浸水深とは、浸水域の地面から水面までの高さを表します。
想定最大流域とは、計画規模以上の降雨により、地形的に準用河川山際川へ流入する流域となっています。

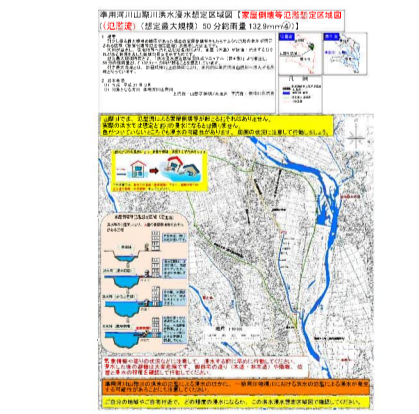
2 基本事項
(1) 作成 平成31年3月
(2) 対象となる河川 準用河川山際川
上流端：山際字神明ノ木地先
下流端：相模川合流点



④洪水浸水想定区域図【家屋倒壊等氾濫想定区域図（氾濫流）（想定最大規模）50分総雨量132.9mm】

1 概要
想定し得る最大規模の降雨があった場合の家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域（家屋倒壊等氾濫想定区域）を表示した図面です。河川が溢水し、住宅地等へ流れ込む氾濫流により、家屋（木造）が倒壊・流出するおそれがある範囲を表した区域の目安を示すものです。
想定最大規模降雨とは、「洪水浸水想定区域図作成マニュアル（第4版）」により算出し、50分の総雨量として132.9mmの雨が降ることを想定しています。
想定最大流域とは、計画規模以上の降雨により、地形的に準用河川山際川へ流入する流域となっています。

2 基本事項
(1) 作成 平成31年3月
(2) 対象となる河川 準用河川山際川
上流端：山際字神明ノ木地先
下流端：相模川合流点



⑤洪水浸水想定区域図【家屋倒壊等氾濫想定区域図（河岸侵食）（想定最大規模）50分総雨量132.9mm】

1 概要
想定し得る最大規模の降雨があった場合の家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域（家屋倒壊等氾濫想定区域）を表示した図面です。河岸が侵食された場合における家屋（木造・非木造）の倒壊・流出するおそれのある範囲を表した区域の目安を示すものです。
想定最大規模降雨とは、「洪水浸水想定区域図作成マニュアル（第4版）」により算出し、50分の総雨量として132.9mmの雨が降ることを想定しています。
想定最大流域とは、計画規模以上の降雨により、地形的に準用河川山際川へ流入する流域となっています。

2 基本事項
(1) 作成 平成31年3月
(2) 対象となる河川 準用河川山際川
上流端：山際字神明ノ木地先
下流端：相模川合流点



3 活用方法について

- 河川施設等の整備では守りきれない想定し得る最大規模の降雨があった場合に、御自宅や通勤、通学など御自身に関わる場所がどの程度浸水するのか、あるいは家屋倒壊等のおそれがないか、水害に対する危険性を事前に確認していただくものです。
- 今後は、この情報を洪水浸水ハザードマップや地域防災計画に反映し、市民の皆様の安心・安全の確保を図ってまいります。

準用河川山際川の洪水の氾濫による浸水のほかに、一級河川相模川における洪水の氾濫による浸水が発生する可能性があることにも注意してください。

ご自分の地域やご自宅でどの程度の浸水になるか、家屋倒壊等のおそれはないかこの洪水浸水想定区域図で確認してください。

準用河川山際川洪水浸水想定区域図について、詳しくお知りになりたい場合は、都市整備部河川ふれあい課（電話 046-225-2380）に図面がありますのでお問い合わせください。